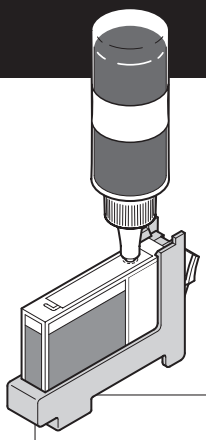
AROUND THE PC
ELECOM

〈インクジェットプリンタ専用〉詰め替えインク
共通取扱説明書

CANON BCI-7e(7)用 40mlタイプ



詰め替えインク 型番	インク容量	インク色	対応カートリッジ
THC-7BK4	40ml	染料ブラック	BCI-7e(7) BK
THC-7C4	40ml	シアン	BCI-7e(7) C
THC-7M4	40ml	マゼンタ	BCI-7e(7) M
THC-7Y4	40ml	イエロー	BCI-7e(7) Y
THC-7PC4	40ml	フォトシアン	BCI-7e(7) PC
THC-7PM4	40ml	フォトマゼンタ	BCI-7e(7) PM
THC-7R4	40ml	レッド	BCI-7e(7) R
THC-7G4	40ml	グリーン	BCI-7e(7) G
THC-7CSET4	各40ml	シアン/マゼンタ/イエロー	BCI-7e(7) C/M/Y
THC-7PSET4	各40ml	フォトシアン/フォトマゼンタ	BCI-7e(7) PC/PM

この説明書をよく読んで正しく作業してください。

詰め替え作業の前に

長期間プリンタをお使いになっていない場合、インクを補充しても正常印字が出来ない場合があります。詰め替えを行う前に印字ができるかどうかを必ず確認してください。

●詰め替えるタイミングについて

パソコン画面上にインク残量警告が表示された時点で詰め替え作業を行ってください。

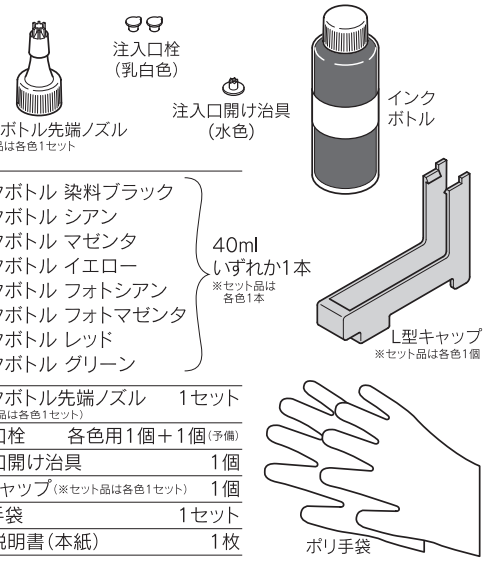
※警告が表示されたあとも印字を続けるとスポンジ部が乾燥し故障の原因となります。

事前にご用意いただくもの

●ペーパータオルか新聞紙
汚れ防止のため下敷きに何枚か重ねて使用します。

●ティッシュペーパー インク吸収及び拭き取りに使用します。

セット内容



インクボトル先端ノズル (※セット品は各色1セット)	1セット
注入口栓	各色用1個＋1個(予備)
注入口開け治具	1個
L型キャップ(※セット品は各色1セット)	1個
ポリ手袋	1セット
取扱説明書(本紙)	1枚

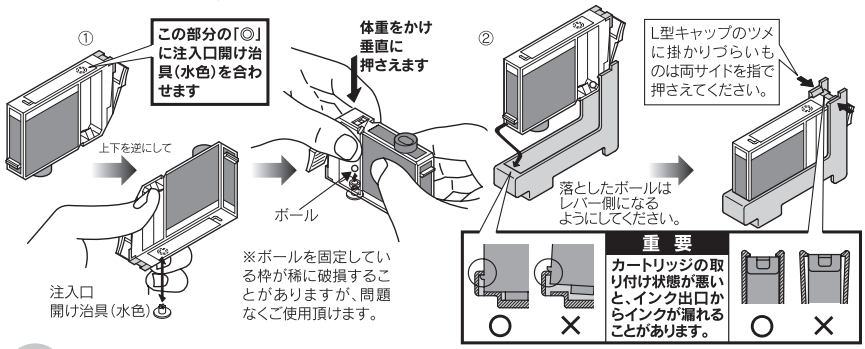
⚠ ご使用及び保管に関しての注意

●ご使用前には、必ず取扱説明書をよく読んでから、詰め替え作業を行ってください。
●プリンタ等の故障の原因となりますので、以下のカートリッジには使用しないでください。
 •本製品対応以外のカートリッジ
 •空のまま、長期間放置したカートリッジ
 •他社の詰め替えインクをご使用になられたカートリッジ
●お子様の手の届かない場所に保管してください。
●インクを飲まないでください。万一、インクを飲み込んだ場合は、水を飲ませる、また、目に入った場合は、こすらずに水でよく洗う、等の処置をして、すぐに医師の診察を受けてください。
●皮膚などにインクがついてしまった場合は、時間がたつと落ちにくくなりますので、すぐに石けんや水で洗い流してください。
●直射日光の当たる場所を避け、冷暗所に保管してください。
●長期間使用されなかったインクは、変質することも考えられますので、できるだけ1年以内にご使用ください。
●先端ノズルを取り付けたインクボトルは立てた状態で保管してください。横倒し状態で保管しますとインクが漏れることがあります。

インク詰め替えの手順

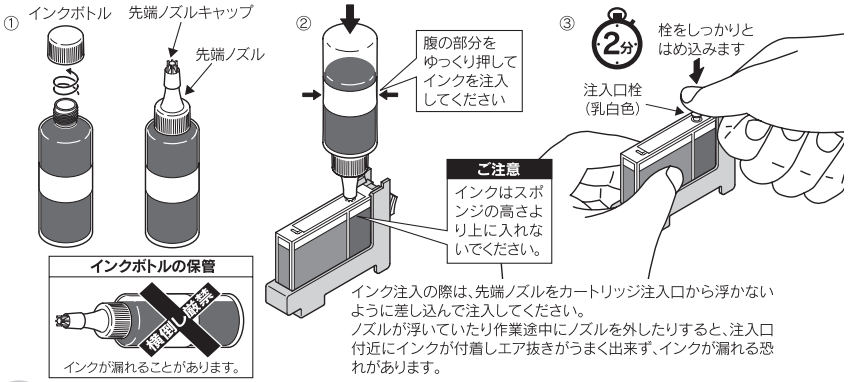
1 準備をします

①ペーパータオルか新聞紙を作業する場所に敷いてください。
②**付属の注入口開け治具(水色)を天面フィルムの「◎」に合わせ、カートリッジを垂直に押さえてカートリッジのボールを容器内に落とします。**丸く抜かれたフィルムは取り除いてください。(この際、抜かれたフィルムがカートリッジ内に落ちることがありますが、使用上問題ありませんのでそのままお使いいただけます。)
③容器のインク出口に付着したインクをティッシュペーパーで拭き取ってから、**インク出口面にL型キャップをしっかりと取り付けてください。**



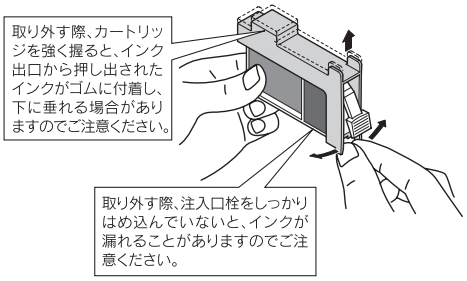
2 インクを注入します

①インクボトルのキャップを取り、先端ノズルをしっかり取り付けます。(緩いとインクが漏れる場合があります。)
②先端ノズルのキャップを取り、インク注入口に奥まで差し込んでください。ボトルの腹をゆっくりと押し、インクが漏れないよう確認しながら注入してください。
③注入後、**インクがスポンジに十分しみ込むよう、2分間放置**してから、付属の注入口栓(乳白色)をしっかりとはめ込みます。インクボトルは先端ノズルの先をティッシュ等で拭いて**しっかり先端ノズルキャップをし、立てた状態で保管してください。**



3 プリンタにセットします

①インク出口面に取り付けたL型キャップを外します。この時インク出口から、インクが数滴漏れることがあります。インク漏れがないことを確認してからプリンタにセットしてください。
②プリンタにカートリッジをセットし、プリンタの取扱説明書に従って、プリントヘッドのクリーニングと印字確認を行ってください。印字が安定しない場合は、プリントヘッドのクリーニングと印字確認を交互に行ってください。



カートリッジの詰め替え限度回数について

詰め替え限度回数は4回です。これ以上の詰め替えは行わず、新しいカートリッジをご購入ください。
ただし、上記回数は目安であり、お客様のご使用状況により上記回数まで詰め替えできない場合もあります。
詰め替え回数が確認できるよう、油性ペン等でカートリッジに回数を書き込んでおくと次回詰め替えるとき便利です。

トラブル発生時は裏面のトラブル対応をご確認ください。

はじめにお読みください。

こんなときは	ご確認ください	対応
商品内容が記載と異なる	**●本取扱説明書に記載してありますセット内容と現品をご確認ください。**	お買い上げの販売店までご連絡ください。
インクボトルから インクが漏れている	**●箱やインクボトルに損傷はありませんか？** ➡運送上の破損の可能性があります。	お買い上げの販売店までご連絡ください。
	●箱やインクボトルに損傷がないのにインクが漏れていましたか？	お買い上げの販売店までご連絡ください。
	●先端ノズルを取り付けた状態でインクボトルを横倒しにて 保管していませんか？	立てた状態で保管してください。
注入後のカートリッジから インクが漏れている	**●インクのなくなったカートリッジを長期間放置されませんでしたか？** ➡カートリッジの中でインクが固まってしまっており、きちんと注入できていない可能性があります。	新しい純正カートリッジをお買い求め頂き、それを使い切ってから弊社詰め替えインクをご使用ください。
	●インク注入口からインクが漏れていませんか？	インク注入口を塞いでいる注入口栓をご確認ください。
	●インク出口からインクが漏れていませんか？	ティッシュペーパー等の上にカートリッジのインク出口を下にして、余分なインクを吸収させてください。
印字中のカートリッジから インクが漏れている	**●注入後のカートリッジからインクは漏れていませんでしたか？**	上記「注入後のカートリッジからインクが漏れている」をご確認ください。
	●詰め替え回数はオーバーしていませんか？ ➡カートリッジ自体が消耗している場合、インクが保持できない場合があります。（本取扱説明書「カートリッジの詰め替え限度回数について」もあわせてお読みください。）	詰め替え限度回数を超えたカートリッジには詰め替えインクはご使用にならないでください。詰め替え限度回数を超えたカートリッジは廃棄していただき、新しいカートリッジをご使用の上、詰め替えを行ってください。
うまく印字ができない	**●他社の詰め替えインクに継ぎ足して使用していませんか？** ➡他社詰め替えインクと混合しますと、不具合が発生する可能性があります。	パッケージに記載の純正インク以外とは互換性はありませんので決してご使用にはならないでください。
	●印刷面にインクが漏れていませんか？ ➡カートリッジからインクが漏れていると、印字不良だけでなく、プリンタの故障の原因ともなりますので、充分ご注意ください。	上記「注入後のカートリッジからインクが漏れている」「印字中のカートリッジからインクが漏れている」をご確認いただき、適切な処置を行った後、動作確認と印字確認を行ってください。
	●カートリッジからインクは供給されていますか？ ➡長期間プリンタをご使用になられていない場合、インクが中で固まっている可能性があります。	プリントヘッドのクリーニングを実施し、印字確認を行ってください。 それでもインクが供給されない場合、新しいカートリッジで印字確認を実施してください。
	●純正以外のカートリッジを使用していませんか？	純正以外のカートリッジには対応しません。 必ず純正のカートリッジをお使いください。
	●プリントヘッドの位置調整は行いましたか？	プリンタの取扱説明書に従って調整してください。
	●カートリッジをプリンタから外したまま長期間放置していませんでしたか？ ➡プリントヘッドに残ったインクが固まっている可能性があります。	新しいカートリッジで印字確認を行ってください。 改善しない場合は、長期保管によりプリンタ側にトラブルが発生した可能性があります。
	●落としたボールとフィルムが稀にインク通路を塞ぐことがあります。	カートリッジをプリンタより取り外し、レバー側を斜め下にし、 フタを2、3回たたきます。インク通路を塞いでいたボールとフィルムがレバー側に移動し正常に印字ができます。
	●インク内に泡だけが残っていませんか?	泡が消えるのを待ち、インクを注入してください。
色合いがおかしい	**● インク注入量が多すぎませんか？** ➡インクを入れすぎると、特定の色が濃くなったり、正常な色合いにならない場合があります。	プリントヘッドのクリーニングと印字確認を交互に行い印字状態を安定させてください。
	●画面上の色合いと異なっていますか？ ➡ソフトの設定や、画面の調整によっては、画面上のカラーと実際の印字カラーは異なることがあります。	ソフトやディスプレイの設定を確認してください。
	●純正インクで印字した場合と色合いが異なっていますか？ ➡本品は純正インクを使用しておりません。同等の色合いを実現させておりますが、若干の色の差異が発生する場合があります。	プリンタによっては、印刷設定で色合いの調整ができる場合があります。 詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。
手などにインクが付着した	**●インクの付着による人体への影響はありません。**	石けんや水で優しく汚れを落としてください。
誤ってインクを飲み込んでしまった		水を飲ませる等の措置をして、すぐに医師の診断を受けてください。
インクが衣服に付着してしまった		衣服の素材に合った方法でしみ抜き等をお試しください。

※インク詰まり等が発生し、印字が正常にできなくなった場合は、新しい純正カートリッジで印字確認を行ってください。
プリンタ本体の故障でない場合は、カートリッジ交換とプリントヘッドのクリーニング等で改善される可能性があります。

■ご不明な点は、下記までご連絡ください。

【商品に関するお問い合わせは】
エレコム総合インフォメーションセンター **TEL:0570-084-465 FAX:0570-050-012** 〔受付時間〕9:00～12:00 13:00～18:00 **年中無休**

AROUND THE PC
ELECOM

エレコム詰め替えインクTHC-7シリーズをお使いのお客さまへ

2005年10月発売のキヤノン新プリンタ(2006年モデル) BCI-7e カートリッジへの詰め替えについて

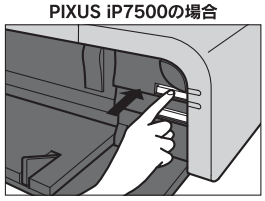
本製品をBCI-7eカートリッジに詰め替え、ご使用になる場合、下記プリンタでは「インク残量検知機能を無効にする」という操作を行わないと印刷ができません。つきましては本手順書を参考に、操作を行ってください。(基本的には、パソコン画面上の手順にしたがって、操作してください。)パソコンを使用せず、写真ダイレクト印刷をする場合は、リセットボタンを5秒以上押してから離していただくことにより、印刷可能になります。

インク残量検知機能無効操作手順

詰め替え作業後、インクカートリッジをプリンタにセットし、印刷操作を行うと、通常の印刷時のウインドウ②と別にウインドウ①が表示(ポップアップ)されます。インク残量検知機能を無効にするには、ウインドウ①の指示にしたがい操作を行います。

■リセットボタン位置

PIXUS iP7500の場合



PIXUS iP4200の場合

その他のPIXUS
MP950/MP800/MP500/iP6600Dは、
プリンタ操作パネル上の〔ストップ/リセット〕
ボタンを押してください。

対象プリンタ

**PIXUS
iP7500/iP6600D/iP4200*/
MP950/MP800*/MP500***

*印プリンタはBCI-7ePC/7ePMは非対応です。

◎下記のプリンタ(2005年モデル)は、この操作を必要と致しません。
PIXUS
iP9910/iP8600/iP8100/
iP7100/iP6100D/iP4100/
iP4100R/iP3100/MP900/
MP790/MP770

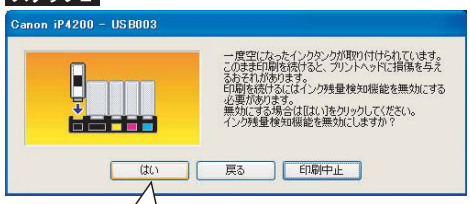
ウインドウ①

こちらのウインドウを操作してください。

ステップ1

『OK』をクリック

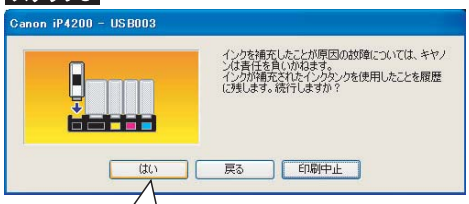
ステップ2



※1

『はい』をクリック

ステップ3



『はい』をクリック

プリンタのリセットボタンを5秒以上押してから離しますと、このウインドウが閉じ、印刷が開始されます。

ステップ4

※2

※CanonプリンタPIXUS iP4200(OS:Windows XP)使用時のパソコン画面を引用しております。

ウインドウ②

こちらのウインドウは表示されるのみで、操作は一切ございません。

印刷を開始します

※3

※4

※1 インク残量検知機能が無効となるカートリッジは、本操作を行ったカートリッジだけです。
新規に購入された純正カートリッジをご使用になる場合は、本操作後も通常にインク残量検知を致します。
※2 本操作はカートリッジ毎1回行えば、印刷のたびに上記情報画面は、表示されることはありません。
また、次の詰め替えを行っても同様に表示されません。
※3 印刷が開始されると「印刷中です。」が表示されます。
※4 インク残量検知機能が無効となるため、インク残量表示が出ませんので、詰め替えのタイミングは早めにされることをおすすめいたします。
(※4ウインドウは、※3ウインドウの「インク詳細情報」をクリックすると表示されるウインドウです。)
※作業時などにインクタンクのコンタクト部(基板部)に触れないよう注意ください。

上記記載の最新情報については、弊社ホームページまで　http://www.elecom.co.jp